

家畜ふん尿処理の推進について

1 経過

H29. 10	バイオガスプラントに係る利用希望調査（町とJAが共同で実施） 対象農家（酪農・肉牛・養豚）71戸のうち65戸から回答、うち22戸が利用を「希望する」と回答
H29. 12	芽室町における酪農基盤整備構想策定
H30. 4	芽室町家畜ふん尿処理施設基本設計委託（委託期間4～8月）
R 1. 7	農山漁村活性化推進事業 地域課題解決マッチング活動のモデル地区に応募、モデル地区に選定
R 1. 10	地域課題に対する民間からの事業提案を募集 （民間企業約1,000社に対して募集通知発出）
R 1. 11	5社から事業提案、事業内容協議
R 2. 2	事業提案内容に係る情報交換会の実施（2社が参加）
R 2. 3	総務経済常任委員会 芽室町家畜ふん尿処理推進計画（案）を説明 芽室町ふん尿処理推進計画（以下、「推進計画」） 策定
R 2. 4	芽室町家畜ふん尿処理推進検討会（町、JA、生産者等）を設立
R 2. 8	エネルギー地産地消事業化モデル支援事業に係る計画書提出
R 2. 10	堆肥利用のマッチングシステムに係るアンケート実施
R 2. 11	エネルギー地産地消事業化モデル支援事業計画認定

2 現状

推進計画で掲げた5項目についての、現時点における進捗状況は次のとおり。

(1) (仮称) 家畜ふん尿処理検討会議の設立

令和2年4月 家畜ふん尿処理推進検討会を設立

(2) 堆肥利用に係るマッチングシステム等の構築

令和2年10月 堆肥利用に係るマッチングシステムアンケート実施

(3) 国等支援制度の利活用に対する支援

随時実施

(4) 家畜ふん尿処理施設整備に係る支援制度の創設 (資料3-2)

令和2年10月 実行計画で協議

(5) 集中型バイオガспラントの整備 (資料3-3)

令和2年11月 エネルギー地産地消事業化モデル支援事業 計画認定

3 今後のスケジュール

令和2年12月～ 奨励制度の詳細検討

エネルギー地産地消事業化モデル支援事業開始

マッチングシステムの内容協議

令和3年3月 奨励制度 成案化 (予定)

エネルギー地産地消事業化モデル支援事業 成果品受領予定

令和3年9月 堆肥利用に係るマッチングシステム 概要案作成